

八幡市立就学前施設の再編について
就学前教育・保育の充実について
(答申)

平成29年8月25日
八幡市子ども・子育て会議

目 次

はじめに.....	1
第1 八幡市の就学前施設の現状と課題.....	3
(1) 国の制度等の動向.....	3
(2) 八幡市の就学前施設の変遷.....	3
(3) 就学前児童数・園児数の推移.....	4
(4) 就学前施設の運営状況.....	5
(5) 子どもや子育て家庭の状況.....	5
(6) 就学前施設における課題.....	6
第2 公立就学前施設の再編について.....	8
(1) 再編にあたっての基本的な考え方.....	8
(2) 再編に際して配慮すべき事項について.....	10
第3 就学前教育・保育の充実について.....	11
(1) 一人ひとりの育ちを見通した教育・保育を等しく提供することが望ましい。.....	12
(2) 配慮が必要な子どもに対する教育・保育を充実することが望ましい。.....	12
(3) 子育て家庭への支援を充実することが望ましい。.....	13
(4) 多様化する保育ニーズへ対応することが望ましい。.....	14
(5) 職員体制と職員研修を充実することが望ましい。.....	15
(6) 安全・安心な教育・保育環境を提供することが望ましい。.....	15
むすび.....	17
資料編.....	18

はじめに

八幡市では、「八幡市子ども・子育て支援事業計画」（平成 27 年度～31 年度）が策定され、それを基に、様々な施策がなされてきました。平成 29 年 1 月にまとめられた「八幡市就学前施設についてのアンケート」では、「八幡市に住んで子育てに関して良かったと思えるところ」に対する多くの意見は、「医療費が安い」「子育てセンターの充実」「待機児童がない」というもので、これは市が先進的な施策を実施されてきた結果であると思われます。

しかし、少子化は留まるところを知らず、近年、保護者の就労状況が大きく変化しており、保育ニーズの低年齢化とともに、子どもや保護者のニーズも多様化してきております。加えて、自分の子どもを産むまで子育ての経験がほとんどない親が増える中、育児情報が断片的であったり、過剰な子育て情報があふれ、かえって不安を感じる保護者が増えています。また、価値観の多様化を背景に、保護者が育てたいと思う子ども像にも変化が見られます。これらの社会の流れは、八幡市にも同じように押し寄せてきています。

子どもの笑顔は未来への希望です。子どもの育ちや子育て全般において、子どもの可能性を信じ、子どもの幸せが第一に考えられ、その利益が最大限に尊重されるよう配慮が求められます。教育基本法が改正され、子ども・子育て支援新制度が始まるなど、今、就学前教育・保育は大きな転換期を迎えています。特に、教育・保育の内容については、時代に応じたより質の高いものにしていく必要があります。

子ども・子育て支援新制度では、保育園・幼稚園・認定こども園の共通の財政措置となる施設型給付の仕組みが導入され、認定こども園制度の改善や小規模保育事業が創設されるなど子育てしやすい社会に向けた取組が進められ、市町村には、多様な主体による質の高い教育・保育を地域の実情に応じて総合的かつ効率的に提供する責務が課せら

れました。

子どもや子育て家庭を取り巻く状況が大きく変化する中で、八幡市では、就学前施設の今後の方向性を検討するために、市役所内部での検討委員会を立ち上げ、平成28年3月に『八幡市就学前施設のあり方について』の提言書を取りまとめています。

この様な状況の中、この度、時代に即したより良い就学前施設となるよう、八幡市長ならび八幡市教育委員会から諮問を受けました「八幡市立就学前施設の再編」及び「就学前教育・保育の充実」について、提言書の検証をふまえ、一定の方向性を取りまとめるに至りましたので、ここにご報告いたします。

第1 八幡市の就学前施設の現状と課題

(1) 国の制度等の動向

平成27年度から就学前教育・保育、地域の子育て支援の量の拡充や質の向上を進めるべく「子ども・子育て支援新制度」が実施された。

主な内容としては、幼稚園と保育園の良いところと地域子育て支援の機能をあわせ持つ認定こども園の制度が改善され、総合的で質の高い教育・保育を提供しやすい環境となっている。また、施設型給付という仕組みが導入され、この制度の中で認定こども園、幼稚園、保育園、小規模保育等を市町村が一元的に管理することとなった。さらに、一時的に子どもを預かる一時預かりや親子がともに交流できる居場所を増やすなど未就園児のいる家庭に対する支援も充実を図ることとしている。

これらを推進するために、基礎自治体である市町村には、多様な主体による良質かつ適切な教育・保育を、地域の実情に応じて総合的かつ効率的に提供する責務が課せられ、これまで以上に市町村の権限と責任が増している。

(2) 八幡市の就学前施設の変遷

八幡市の就学前施設は、昭和45年度に保育園5園・幼稚園3園の合計8園であったものが、男山団地の開発による人口急増にあわせて設置が進み、昭和56年度には保育園15園（うち公立10園）・幼稚園12園（うち公立10園）の合計27園（うち公立20園）まで増加した。

しかし、昭和54年度以降、就学前児童数が減少局面に転じ、昭和61年度には、1園当たりの園児数も大幅に減少したことから、公立幼稚園の2年制の導入や幼保の合同保育を実施し、公立幼稚園の園児数を適正規模とするよう努めてきた。

その後も就学前児童数が減少を続ける中で、平成6年に「八幡市の

実態にふさわしい就学前教育のあり方について」の答申により、幼稚園の適正規模の基準が各年齢2クラス程度と示されたことを受け、公立幼稚園は、平成9年度に3年制を本格実施するとともに、平成10年度に小規模園4園を廃園する再編を行い、公立保育園の小規模園も平成9年に2園を廃園している。

再編後の平成10年度の就学前施設数は、保育園12園・幼稚園8園の合計20園となった。公私の内訳は、公立園13園・私立園7園となり、施設数のピークである昭和56年度と比較すると私立園の園数に変化はないが、公立園は20園から13園に減少している。

また、美濃山・欽明台地域の大規模開発に伴う就学前児童数の増加により、同地域には平成15年度に私立幼稚園が1園、平成21年度に、私立保育園が1園開園した。一方で、平成19年度には、行財政改革の一環として公立保育園1園を民営化している。

新制度が始まる平成27年度には、認定こども園制度が改正され、公立園1園が新たな認定こども園として認可を受け、また、私立幼稚園2園が認定こども園に移行し、現在、保育園12園（公立5園）・幼稚園6園（公立5園）・認定こども園3園（公立1園）の21園（公立11園）の体制となっている。

(3) 就学前児童数・園児数の推移

就学前児童数は、昭和54年度の9,627人をピークに減少の一途をたどり、平成13年度には4,039人まで減少した後、概ね4,000人前後で推移してきた。

しかし、平成23年度から再び減少に転じ、平成29年度には3,297人でピーク比から6割以上の減少比率を示し、さらに将来推計でも、減少傾向が続く予測となっている。

また、公立幼稚園の就園率では、昭和54年度の5歳児で、58.7%が就園していたのに対し、平成29年度には19.7%（認定こども園の幼稚

園認定（教育標準時間認定のこと。以下同じ。）を含む）まで減少している一方で、保育認定の比率は、出産育児期（30歳代）の女性の労働力率の高まりなどを背景に、低年齢で顕著に増加している。平成29年度の2歳児の就園率では、59.2%となっており、幼稚園入園前に半数以上が就園するまでに上昇している。

保育認定の園児数は、就園率の上昇が就学前児童数の減少を上回り増加し続け、再編後の平成9年度と平成29年度を比較すると、1,189人から1,684人と、495人（41.6%）増加している。

公立幼稚園の園児数は、600人前後で推移していたものが平成19年度以降減少傾向に転じ、平成29年度では297人（認定こども園の幼稚園認定を含む）となり、学年の園児数が10名程度の園が見られる。

（4）就学前施設の運営状況

保育園は、学校や幼稚園と比較すると配置基準が高い乳児を受け入れることから、職員が多く、多額の経費を要している。運営にあたっての財源は、利用者からの保育料と国等の負担金から成り立っているが、昭和60年度以降、国の負担比率が大幅に減少し、さらに平成16年度に公立保育園の国の負担金制度が廃止された。

財政事情が厳しいこともあり、全国的に保育園の民営化や職員体制の非正規化が進んでいる。八幡市も、例外ではなく、これらの取組を図ってきている。

就学前施設の財務状況には、一定の改善が見られるが、依然として公立保育園は多くの一般財源を必要としており、公立幼稚園は、園児数の減少から、近年、一人当たりの経費が高んでいる。

（5）子どもや子育て家庭の状況

近年、子育て家庭では、核家族化や地縁関係の希薄化などにより、自分の子どもを産むまで一度も赤ちゃんに触れたことがないなど子育

てに対する経験や知識が不足したまま親になる家庭が増えている。また、祖父母の協力を得ながら、子育てをする家庭が少なくなっており、子育てに悩む保護者や孤立する親子も見られる。

子どもを取り巻く環境では、少子化や過度な安全に配慮するあまり、公園で子どもたちの遊ぶ姿が見られなくなるなど地域で子どもたちが自然に集まることが難しくなっている。また、家の中でもテレビやスマートフォンなどとともに過ごす時間が多くなっている。

社会状況が変化する中で、子どもたちにおいては、基本的な生活習慣やコミュニケーション能力が十分に育っていないことなどが指摘されている。

(6) 就学前施設における課題

八幡市の就学前施設は、幼稚園での3年制導入や合同保育の実施などの工夫をしつつ、園児の適正規模を確保してきたが、就学前児童数が4,000人規模に対して21施設を配置していたものから、将来的に3,000人規模へと縮小するのであれば、施設数の過剰が懸念される。

保育認定の園児数は、就園率の上昇とともに増加し続けている一方で、公立幼稚園では、園児数の減少が続いている。平成29年度には297人（認定こども園の幼稚園認定を含む）となり、学年の園児数が10名程度となっている園が見られ、適正な園児集団を確保できていない。

また、職員体制においては、職員の若年化が進むとともに、保育園では臨時職員など不安定な雇用形態の職員が増え、幼稚園では園児数に応じた職員体制となるため、職員規模が小さくなっている。

教育・保育は経験や園内の指導のみならず、時代に対応した研修が不可欠になってきている。しかし、保育園では研修に必要な時間の確保が難しく、幼稚園では職員が少ないため、活気ある園内研修が難しくなっていると同時に、一人の職員が多くの役割を担っている。

さらに、財政状況が厳しい中、公立の就学前施設の運営には、多く

の財源を要しており、施設を維持していくにも、老朽化のため、今後、多額の整備費が必要となる。

子どもの育ちをみると、コミュニケーション能力の低下など今日的な課題への対応が求められる中、適正な園児数が確保できない園では、子どもたち同士の関係が固定化され、多様な人間関係の中で社会性や生きる力を育むのに不十分な環境となってきた。

子育て中の保護者においても、子育てに対する経験や知識が不足している親や孤立する親子が増えているため、子育て相談や集える場などの充実が求められている。

子どもの子育てに対する第一義的な責任は保護者にあるが、子育て家庭を取り巻く状況は、親が子どもであった時代と大きく様変わりしてきており、子どもにとっても、保護者にとっても就学前施設の役割はますます重要となってきた。

第2 公立就学前施設の再編について

今後の就学前施設については、保育ニーズが長時間・低年齢化する中で、就学前児童数が減少することから、公立幼稚園が単体で運営を継続することが難しくなることが懸念される。

また、保護者への支援が多岐にわたっており、保育の必要性が変化する家庭も多く、既存の保育園・幼稚園よりも総合的な支援ができる認定こども園の方が望ましいと考えられる。

しかしながら、就学前児童数が4,000人規模から3,000人規模への縮小する中で、21施設を抱えたままでは、園児の適正な集団が確保することができないばかりでなく、非効率な運営を強いられ、認定こども園への移行も困難であると考えられる。

これらを総合的に勘案すると、公立就学前施設は、認定こども園化による再編が必要であると考えられる。

(1) 再編にあたっての基本的な考え方

今後も就学前児童への良質で適切な教育・保育環境を安定的に提供していくためには、教育的観点から集団の適正規模を確保しつつ、効果的な施設運営体制の構築を目指し、公立就学前施設の再編に取り組むことが求められる。

一定の園児集団を確保することは、子どもたちにとって、小集団による人間関係の固定化を回避できるだけでなく、多様な友達との関わりの中で、切磋琢磨できる環境や、様々な遊びや体験ができるなど幼児期にふさわしい環境が確保できる。

また、園児数に応じて職員数も増えるため、職員体制が充実するとともに、活気ある園運営にもつながる。

再編にあたっては、年度当初の待機児童を出すことなく、さらに、3歳以上児のほぼ全入園を堅持することを前提として、次の点について

て関係機関との十分な連携のもとで進めていくことを望むものである。

- ① 就学前施設全体の配置バランスを考慮する中で、可能な限り小学校区単位で公立の就学前施設を再編することが望ましい。

(理由)

就学前施設は、小学校区によって、施設のない地域や公私立・幼保で配置のばらつきが見られることや、保育需要の高まりや配慮が必要な児童への支援など就学前施設に求められる役割が増す中で、施設数の過度な縮小は、好ましくない状況にある。

公立就学前施設の再編に際しては、配置バランスを考慮し、既存私立施設を含めた全体的な運営の安定化を図ることが求められ、小学校との連携や地域とのかかわりがもちやすい環境の確保にもつながることから、可能な限り小学校区単位で複数配置されている施設の再編が望ましい。

- ② 公立の就学前施設の再編にあたっては、認定こども園へ移行することが望ましい。

(理由)

認定こども園は、3歳児以上の場合、就労等の保育の必要性の有無に関わらず入園できるため、子どもたちにとっては、家庭状況が変化しても、継続して利用できるとともに、乳児から幼児までの幅広い年齢の子ども同士が共に育つ環境となっている。

また、地域への子育て支援として、未就園の親子が集う場の提供や相談事業の実施が求められ、子育て家庭を未入園の段階から支援することができるため、保護者にとっても子育てしやすい環境となる。

職員体制については、担任等が幼稚園教諭と保育士の両方の資格を

有する保育教諭となり、専門性が向上するとともに、主幹保育教諭等が加配され、充実した人員体制となるため、より質の高い教育・保育を提供できる体制が確保される。

なお、八幡市では、昭和 61 年度から合同保育を実施しているため、ほとんどの職員が幼稚園教諭と保育士の両方の免許を保有しており、すでに公私立の認定こども園を運営していることから、比較的認定こども園へ移行しやすい環境となっている。

(2) 再編に際して配慮すべき事項について

今後、具体的に公立就学前施設の再編を進めていくには、過度に民業を圧迫しないなど私立施設とのバランスに配慮するとともに、既存施設を有効活用する中で、統合に伴う園児の受け入れ環境を整えることを望む。特に、閉園する場合においては、利用者に十分配慮することを望むものである。

再編は、就学前教育・保育の充実を踏まえつつ、これらのことを勘案する中で、順次、着手することが望ましい。

また、閉園した施設については、必要に応じて、子育て支援など子どもに関する施設へ活用されることが望ましい。

第3 就学前教育・保育の充実について

0歳から就学前の乳幼児期は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う時期として、人が大きく成長する上で非常に重要な意味を持っている。子どもはこの時期に、生活や遊びといった直接的で具体的な体験を通して、情緒面や知的な発達、あるいは社会性を養い、人として、社会を構成する一員として、より良く生きるための基礎を獲得していく。

しかし、少子化、核家族化、都市化、情報化など急激な社会の変化は、子どもの育ちを取り巻く環境や保護者の子育て環境に様々な影響を及ぼしている。

近年、子どもたちにおいては、運動機能や規範意識の低下など今日的な育ちの課題が顕在化してきており、子育て家庭においても、子育て鬱^{うつ}や児童虐待の件数が増加するなど、就学前施設に求められる役割は以前にもまして重要なものとなってきている。

これまで八幡市では、就学前児童に対する先進的な施策を実施してきているものの、さらなる役割が課せられていることから、就学前教育・保育の充実については、以下の3つの視点を踏まえ、後述する取組を着実に実施することが求められる。

《視点》

- 質の高い教育・保育を子どもたちに等しく提供
- 保護者が安心して子育てできる環境の提供
- 充実した教育・保育を提供できる環境づくり

なお、就学前教育・保育の充実については、就学前施設の再編や認定こども園化によって充実が図られる内容もあるものの、重要度や緊急度の高い取組については、早期着手することが望ましい。

また、私立の就学前施設においても、公立の就学前施設と同様に、教育・保育の充実が図れるよう支援することが望ましい。

(1) 一人ひとりの育ちを見通した教育・保育を等しく提供することが望ましい。

再編の基本的な考え方に示すとおり、待機児童ゼロや3歳以上児のほぼ全入園を堅持していくことが就学前の教育・保育施策の推進の前提となる。

年齢に適した集団活動を通じて、子どもたちが学び合えるような園児数を確保したうえで、一人ひとりの育ちを大切にしたい、就学まで一貫性ある教育・保育の提供が必要である。

近年、小学校に入学したばかりの1年生の授業で、話が聞けない、立ち歩く、集中できないといった姿（小1プロブレム）が見られ、就学前施設と小学校との連携がより一層求められていることから、幼小の一貫した「接続カリキュラム」を適切に実施することが求められる。

子どもの育ちにおける今日的課題を解決していくとともに、認定区分に関わらず、どの園でも等質な一貫性のある質の高い教育・保育を等しく提供するため、カリキュラムの充実と共有化が必要である。

なお、八幡市の組織体制では、幼稚園の所管が教育委員会であり、認定こども園や保育園の所管が市長部局となっている。今後、小学校への円滑な接続には、学校を所管する教育委員会の積極的な関与が不可欠であり、教育・保育の質の向上には、就学前から義務教育への一貫した体制として所管の一元化が必要である。

(2) 配慮が必要な子どもに対する教育・保育を充実することが望ましい。

配慮が必要な子どもたちは、身体障がい児・発達障がい児・被虐待児・食物アレルギー児などの多岐にわたる。特に、障がい児に対する支援は、平成28年4月に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」が施行され、障がいのある子どもが教

育・保育を受けられるための合理的配慮及びその基礎となる環境整備が求められている。

就学前施設では、公私立共に障がい児の受入れを行っており、臨床発達心理士等による障がい児カウンセラーが、各園を訪問し、その子どもに応じた助言をもとに、担任と加配職員が適切な教育・保育を行うなど早期発見・早期支援に努めている。今後、担任や加配職員の専門性の向上や就学前の障がい児やその家族を療育支援する児童発達支援事業者との連携強化により、支援の充実が望まれる。

また、引き続き、児童虐待や食物アレルギーのある児童への適切な対応も望まれる。

これらの配慮が必要な子どもへの支援については、今後も、教育、福祉、保健等との「横の連携」を図るとともに、未就園の段階から就学前施設、小学校へと続く「縦の連携」により、一貫した支援を行うことが必要である。

また、配慮が必要な子どもの保護者に対しても、関係機関と連携し、支援していくことが求められる。

(3) 子育て家庭への支援を充実することが望ましい。

近年、家庭での子育ては、祖父母の協力を得ながら子育てをする家庭が少なくなっている。少子化の進行と地域社会のつながりの希薄化などを背景に、保護者も子どもも地域に仲間を見つけるのが難しく、親子が家庭にこもるなど孤立化していることもある。

そのため、就学前施設においても、母子保健担当や子育て支援センター等と連携し、未就園の親子が気軽に集える場の提供や子育てに悩む保護者が相談できる事業を実施するなど地域の実情に応じた子育て支援のより一層の充実が求められる。

子育て支援事業を通じて、保護者に子育て情報を発信し、子育てに

悩む保護者や孤立化している親子等への積極的な支援に努め、必要に応じて、家庭児童相談室等への情報提供や各種事業を紹介するなど関係機関との円滑な連携により、地域の子育て支援としての役割を担うことが必要である。

園児においても、保育の低年齢化・長時間化に伴い、これまで家庭で培ってきた基本的な生活習慣を園で身につける機会が増えてきており、就学前施設への期待がますます大きくなってきている。

今後、子どもを取り巻く様々な状況からも、親の学びや育ちがしづらい状況になってきていることから、就学前施設を通じて子育て中の親子を応援するための方策を検討していくことが必要である。

(4) 多様化する保育ニーズへ対応することが望ましい。

八幡市では、保育認定のニーズ上昇に対して、定員の増加や弾力的運用により必要な定員の確保に努め、待機児童ゼロを継続して達成している。

多様化する保育ニーズに対応するためにも、公私立全ての保育園や認定こども園で乳児保育（0歳児保育）や障がい児保育を実施するとともに、延長保育、一時預かりや病児保育等の取組を進めてきた。

幼稚園についても、3年制をいち早く実施するとともに、保護者の長時間保育へのニーズに応えるため、預かり保育を実施してきた。

今後も待機児童ゼロやこれまでに取り組んできた事業を継続するとともに、保育認定の保護者に対しては、安心して就労できるように保育時間の延長が求められ、幼稚園認定の保護者に対しては、一時的に長時間の保育を必要とする際にも安心して利用できるように預かり保育の利用時間延長が求められる。

また、幼稚園認定の保護者からのニーズが高い給食は、食育を進めるためにも、実施していくための体制を整えていくことが必要である。

(5) 職員体制と職員研修を充実することが望ましい。

質の高い教育・保育を提供するためには、職員の役割が極めて重要であることから、職員体制の充実と資質のさらなる向上が欠かせない。

公立幼稚園では、小規模園が多くなり、少ない園児数に応じた職員体制となっており、保育園では、長時間子どもを保育するため、勤務時間内の研修や職員間での子どもの育ちを話し合う時間が確保しにくい状況である。

活気のある園運営や職員間教育（OJT）を図るために、適正な園児集団による必要な職員数を確保するとともに、3歳以上児の担任については、教育・保育に専念し、職員間研修や教材準備ができる体制が望まれる。

また、クラス担任が教育・保育に専念できるように、看護職員、庁務員や事務職員の配置等を行ってきているが、保健医療分野の充実が求められているため、看護職員の専任化が必要である。

また、臨時職員など不安定な雇用形態となる職員の比率が高まってきており、園運営の安定化のためにも、一定の正職の確保とともに、主幹及び園長補佐の専任配置等の適切な職員体制が望まれる。

職員研修は、保育士や保育教諭にも、幼稚園教諭と同等の研修機会を保障し、体系的・計画的な研修が必要である。また、幼保合同研修会を継続して実施するとともに、私立の就学前施設を含めた合同研修会などを通じて、市域全体の教育・保育の質の向上を図ることが求められる。

(6) 安全・安心な教育・保育環境を提供することが望ましい。

公立の就学前施設の多くは、築後30年以上が経過し、公立保育園では、耐震整備が完了していない施設もある。子どもにとって、安全・

安心な施設整備に努めるとともに、施設の耐震化や長寿命化については、効果的・計画的に実施することが必要である。

また、駐車場は、車での送迎が増えてきているが、登降園で使用できる台数が少なく、アンケートでも要望が高いことから、施設整備とあわせて計画的に整備することが望ましい。

地域子育て支援事業を行うためのスペースの確保と、障がい児（者）に対しての施設面での合理的な配慮に努めることも求められる。

むすび

この答申は、諮問事項に対する委員の意見ならびに八幡市就学前施設についてのアンケートにおいてご協力をいただいた保護者の意見を可能な限り反映させ取りまとめました。しかし、必ずしも全てを網羅できた訳でなく、ここには盛り込まれなかったものの、審議過程の中で出された市民への周知が十分でないなどのご意見もありました。

それら意見を今後も貴重な意見として捉え、八幡市に住む全ての子どもたちがこれから社会を担うことのできる人材へと成長することを願い、就学前教育・保育の更なる充実を進めていくことを期待します。

資料編

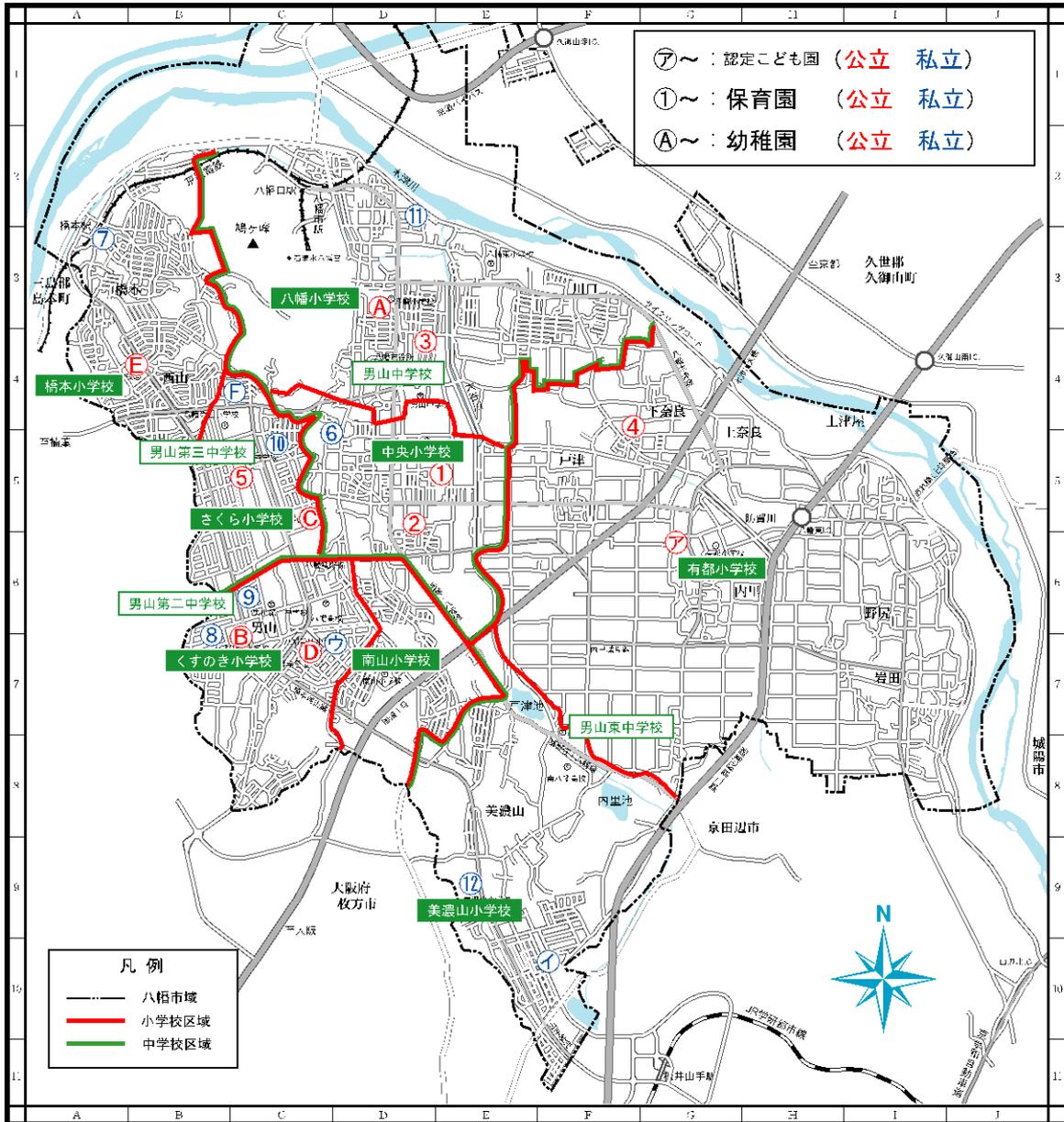
資料 1 就学前施設数の推移

	保育園		幼稚園		こども園		合計			備 考
	公立	私立	公立	私立	公立	私立	公立	私立	合計	
昭和 45 年度	3	2	3	0	-	-	6	2	8	さつき開園
昭和 50 年度	8	5	6	1	-	-	14	6	20	みやこ・ぶどうの木開園 三幼開園
昭和 51 年度	8	5	6	2	-	-	14	7	21	なるみ幼開園
昭和 52 年度	8	5	8	2	-	-	16	7	23	四幼・中央開園
昭和 53 年度	10	5	8	2	-	-	18	7	25	くすのき・わかたけ開園
昭和 54 年度	10	5	8	2	-	-	18	7	25	
昭和 55 年度	10	5	9	2	-	-	19	7	26	五幼開園
昭和 56 年度	10	5	10	2	-	-	20	7	27	東幼開園
昭和 57 年度	10	5	10	2	-	-	20	7	27	
昭和 58 年度	10	5	10	2	-	-	20	7	27	
昭和 59 年度	10	5	10	2	-	-	20	7	27	
昭和 60 年度	10	5	10	2	-	-	20	7	27	
昭和 61 年度	10	5	10	2	-	-	20	7	27	公立 2 年制開始 吉野休園
昭和 62 年度	10	5	10	2	-	-	20	7	27	私立 3 年制開始 吉野休園
昭和 63 年度	10	5	10	2	-	-	20	7	27	吉野休園
平成元年度	9	5	10	2	-	-	19	7	26	吉野廃園
平成 2 年度	9	5	10	2	-	-	19	7	26	
平成 3 年度	9	5	10	2	-	-	19	7	26	
平成 4 年度	9	5	10	2	-	-	19	7	26	
平成 5 年度	9	5	10	2	-	-	19	7	26	
平成 6 年度	9	5	10	2	-	-	19	7	26	
平成 7 年度	9	5	10	2	-	-	19	7	26	中央休園
平成 8 年度	9	5	10	2	-	-	19	7	26	八幼・三幼 3 年制開始 中央休園
平成 9 年度	7	5	10	2	-	-	17	7	24	公立 3 年制開始 五幼・都々城・中央・東休園 さつき・都々城廃園
平成 10 年度	7	5	6	2	-	-	13	7	20	五幼・都々城・中央・東廃園
平成 11 年度	7	5	6	2	-	-	13	7	20	
平成 12 年度	7	5	6	2	-	-	13	7	20	
平成 13 年度	7	5	6	2	-	-	13	7	20	
平成 14 年度	7	5	6	2	-	-	13	7	20	
平成 15 年度	7	5	6	3	-	-	13	8	21	歩学園開園
平成 16 年度	7	5	6	3	-	-	13	8	21	
平成 17 年度	7	5	6	3	-	-	13	8	21	
平成 18 年度	7	5	6	3	-	-	13	8	21	
平成 19 年度	6	6	6	3	-	-	12	9	21	くすのき民営化
平成 20 年度	6	6	6	3	-	-	12	9	21	
平成 21 年度	6	7	6	3	-	-	12	10	22	山鳩第二開園
平成 22 年度	6	7	6	3	-	-	12	10	22	
平成 23 年度	6	7	6	3	-	-	12	10	22	
平成 24 年度	6	7	6	3	-	-	12	10	22	広域入所開始
平成 25 年度	6	7	6	3	-	-	12	10	22	有都認定こども園化
平成 26 年度	6	7	6	3	-	-	12	10	22	
平成 27 年度	5	7	5	2	1	1	11	10	21	新制度施行 歩学園こども園化
平成 28 年度	5	7	5	1	1	2	11	10	21	早苗幼稚園こども園化
平成 29 年度	5	7	5	1	1	2	11	10	21	

※ 認定こども園は、平成 26 年度までは保育園と幼稚園のそれぞれの園数でカウントし、平成 27 年度からは単一の認定こども園としてカウントしている。

資料：保育・幼稚園課調べ

資料2 八幡市就学前施設の配置図



⑦有都こども園	⑤わかたけ保育園	⑫山鳩第二保育園
④歩学園幼稚園	⑥八幡保育園	㉠八幡幼稚園
⑤早苗幼稚園	⑦西遊寺保育園	㉡八幡第二幼稚園
①南ヶ丘保育園	⑧山鳩保育園	㉢八幡第三幼稚園
②南ヶ丘第二保育園	⑨男山保育園	㉣八幡第四幼稚園
③みその保育園	⑩ぶどうの木保育園	㉤橋本幼稚園
④みやこ保育園	⑪くすのき保育園	㉦なるみ幼稚園

資料3 就学前児童数の推移

各年4月1日現在 単位：人

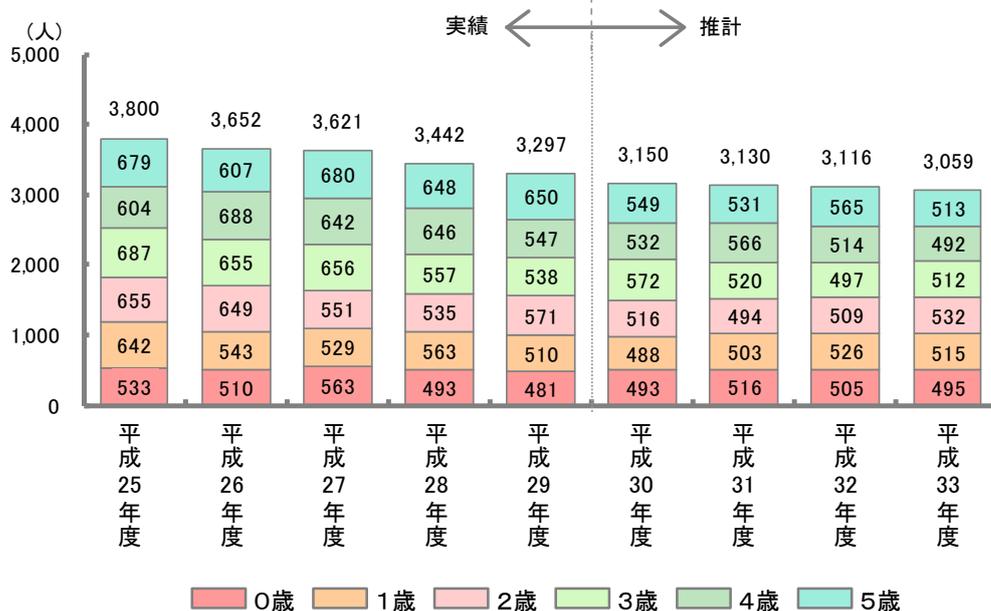
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	就学前 児童数	総人口	人口比
昭和50年	1,568	1,668	1,478	1,293	1,178	1,163	8,348	46,821	17.8%
昭和51年	1,612	1,597	1,695	1,494	1,332	1,221	8,951	51,961	17.2%
昭和52年	1,487	1,659	1,650	1,700	1,514	1,348	9,358	55,500	16.9%
昭和53年	1,506	1,496	1,685	1,654	1,704	1,549	9,594	59,052	16.2%
昭和54年	1,503	1,515	1,522	1,690	1,658	1,739	9,627	61,708	15.6%
昭和55年	1,274	1,430	1,495	1,460	1,661	1,628	8,948	63,968	14.0%
昭和56年	1,331	1,346	1,471	1,489	1,483	1,642	8,762	66,031	13.3%
昭和57年	1,230	1,338	1,335	1,459	1,473	1,449	8,284	67,926	12.2%
昭和58年	1,324	1,260	1,354	1,374	1,457	1,457	8,226	69,282	11.9%
昭和59年	1,279	1,326	1,233	1,311	1,317	1,423	7,889	70,653	11.2%
昭和60年	1,182	1,285	1,303	1,217	1,296	1,291	7,574	71,769	10.6%
昭和61年	1,218	1,160	1,278	1,246	1,175	1,255	7,332	72,857	10.1%
昭和62年	1,170	1,208	1,162	1,235	1,236	1,193	7,204	73,256	9.8%
昭和63年	1,043	1,157	1,182	1,129	1,207	1,200	6,918	73,853	9.4%
平成元年	999	999	1,172	1,161	1,111	1,211	6,653	74,404	8.9%
平成2年	828	1,017	932	1,086	1,073	1,014	5,950	75,201	7.9%
平成3年	847	844	985	931	1,047	1,033	5,687	75,829	7.5%
平成4年	860	843	836	946	898	1,026	5,409	75,895	7.1%
平成5年	839	859	824	808	911	876	5,117	76,174	6.7%
平成6年	761	811	857	772	789	897	4,887	76,115	6.4%
平成7年	810	743	764	823	729	748	4,617	75,688	6.1%
平成8年	725	794	723	728	786	718	4,474	75,179	6.0%
平成9年	704	723	756	692	684	768	4,327	74,422	5.8%
平成10年	686	685	684	724	660	663	4,102	73,845	5.6%
平成11年	693	702	680	689	705	658	4,127	73,572	5.6%
平成12年	644	689	678	669	676	691	4,047	73,507	5.5%
平成13年	699	659	672	672	670	667	4,039	73,266	5.5%
平成14年	715	730	670	715	674	663	4,167	73,754	5.6%
平成15年	664	755	748	688	707	670	4,232	74,119	5.7%
平成16年	684	685	759	747	692	708	4,275	74,141	5.8%
平成17年	678	700	679	760	737	700	4,254	74,130	5.7%
平成18年	632	692	700	665	758	720	4,167	73,880	5.6%
平成19年	632	642	692	706	671	753	4,096	73,877	5.5%
平成20年	615	660	646	684	695	661	3,961	73,651	5.4%
平成21年	590	658	676	662	689	691	3,966	74,040	5.4%
平成22年	669	615	671	677	679	689	4,000	74,128	5.4%
平成23年	637	692	616	680	670	688	3,983	74,167	5.4%
平成24年	615	660	692	611	673	657	3,908	73,928	5.3%
平成25年	533	642	655	687	604	679	3,800	73,553	5.2%
平成26年	510	543	649	655	688	607	3,652	73,172	5.0%
平成27年	563	529	551	656	642	680	3,621	72,992	5.0%
平成28年	493	563	535	557	646	648	3,442	72,448	4.8%
平成29年	481	510	571	538	547	650	3,297	71,958	4.6%

資料：住民基本台帳

資料4 年齢別就学前児童数の推移と推計

単位：人

	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	平成 32年度	平成 33年度	増減 H33-H29
計	3,800	3,652	3,621	3,442	3,297	3,150	3,130	3,116	3,059	-238
0歳	533	510	563	493	481	493	516	505	495	14
1歳	642	543	529	563	510	488	503	526	515	5
2歳	655	649	551	535	571	516	494	509	532	-39
3歳	687	655	656	557	538	572	520	497	512	-26
4歳	604	688	642	646	547	532	566	514	492	-55
5歳	679	607	680	648	650	549	531	565	513	-137



資料：住民基本台帳よりコーホート変化率法で推計

【コーホート変化率法】

各コーホート（同じ年に生まれた人々の集団）について、過去における実績人口の動勢から「変化率」を求め、それに基づき将来人口を推計する方法です。推計するものが比較的近い将来の人口であり、変化率の算出基礎となる近い過去に特殊な人口変動がなく、また推計対象となる近い将来にも特殊な人口変動が予想されない場合は、比較的簡便なこの方法を用いることができます。

資料5 保育認定の園児数及び就園率の推移

各年：4月1日現在 単位：上段（人）、下段（％）

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
昭和56年度	62 4.7	190 14.1	252 17.1	371 24.9	455 30.7	351 21.4	1,681 19.2
昭和57年度	46 3.7	157 11.7	259 19.4	345 23.6	434 29.5	288 19.9	1,529 18.5
昭和58年度	73 5.5	161 12.8	244 18.0	355 25.8	384 26.4	301 20.7	1,518 18.5
昭和59年度	76 5.9	162 12.2	228 18.5	330 25.2	405 30.8	304 21.4	1,505 19.1
昭和60年度	92 7.8	190 14.8	239 18.3	296 24.3	369 28.5	348 27.0	1,534 20.3
昭和61年度	88 7.2	192 16.6	258 20.2	308 24.7	297 25.3	298 23.7	1,441 19.7
昭和62年度	86 7.4	189 15.6	248 21.3	323 26.2	288 23.3	283 23.7	1,417 19.7
昭和63年度	54 5.2	191 16.5	255 21.6	300 26.6	322 26.7	265 22.1	1,387 20.0
平成元年度	63 6.3	154 15.4	275 23.5	308 26.5	293 26.4	315 26.0	1,408 21.2
平成2年度	51 6.2	181 17.8	209 22.4	325 29.9	300 28.0	292 28.8	1,358 22.8
平成3年度	52 6.1	150 17.8	239 24.3	251 27.0	315 30.1	292 28.3	1,299 22.8
平成4年度	50 5.8	159 18.9	211 25.2	282 29.8	276 30.7	302 29.4	1,280 23.7
平成5年度	61 7.3	183 21.3	211 25.6	255 31.6	279 30.6	271 30.9	1,260 24.6
平成6年度	67 8.8	137 16.9	232 27.1	253 32.8	259 32.8	279 31.1	1,227 25.1
平成7年度	69 8.5	150 20.2	196 25.7	268 32.6	255 35.0	256 34.2	1,194 25.9
平成8年度	59 8.1	163 20.5	207 28.6	226 31.0	279 35.5	262 36.5	1,196 26.7
平成9年度	59 8.4	151 20.9	221 29.2	237 34.2	243 35.5	278 36.2	1,189 27.5
平成10年度	49 7.1	153 22.3	208 30.4	269 37.2	245 37.1	251 37.9	1,175 28.6
平成11年度	61 8.8	171 24.4	212 31.2	255 37.0	273 38.7	256 38.9	1,228 29.8
平成12年度	58 9.0	192 27.9	219 32.3	248 37.1	273 40.4	274 39.7	1,264 31.2
平成13年度	78 11.2	190 28.8	258 38.4	273 40.6	267 39.9	276 41.4	1,342 33.2
平成14年度	62 8.7	223 30.5	238 35.5	306 42.8	292 43.3	266 40.1	1,387 33.3
平成15年度	55 8.3	205 27.2	276 36.9	268 39.0	315 44.6	283 42.2	1,402 33.1
平成16年度	71 10.4	185 27.0	269 35.4	321 43.0	275 39.7	318 44.9	1,439 33.7
平成17年度	66 9.7	210 30.0	241 35.5	304 40.0	326 44.2	282 40.3	1,429 33.6

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
平成18年度	60 9.5	204 29.5	280 40.0	274 41.2	307 40.5	313 43.5	1,438 34.5
平成19年度	90 14.2	202 31.5	270 39.0	305 43.2	283 42.2	309 41.0	1,459 35.6
平成20年度	78 12.7	224 33.9	253 39.2	268 39.2	301 43.3	280 42.4	1,404 35.4
平成21年度	80 13.6	198 30.1	269 39.8	294 44.4	270 39.2	301 43.6	1,412 35.6
平成22年度	82 12.3	217 35.3	241 35.9	305 45.1	297 43.7	274 39.8	1,416 35.4
平成23年度	71 11.1	237 34.2	251 40.7	268 39.4	296 44.2	300 43.6	1,423 35.7
平成24年度	78 12.7	213 32.3	299 43.2	281 46.0	274 40.7	295 44.9	1,440 36.8
平成25年度	71 13.3	264 41.1	267 40.8	308 44.8	286 47.4	282 41.5	1,478 38.9
平成26年度	75 14.7	226 41.6	329 50.7	283 43.2	305 44.3	285 47.0	1,503 41.2
平成27年度	86 15.3	214 40.5	290 52.6	347 52.9	295 46.0	317 46.6	1,549 42.8
平成28年度	65 13.2	276 49.0	283 52.9	339 60.9	361 55.9	322 49.7	1,646 47.8
平成29年度	110 22.9	230 45.1	338 59.2	300 55.8	340 62.2	366 56.3	1,684 51.1

資料：保育・幼稚園課調べ

資料6 幼稚園認定の園児数及び就園率の推移

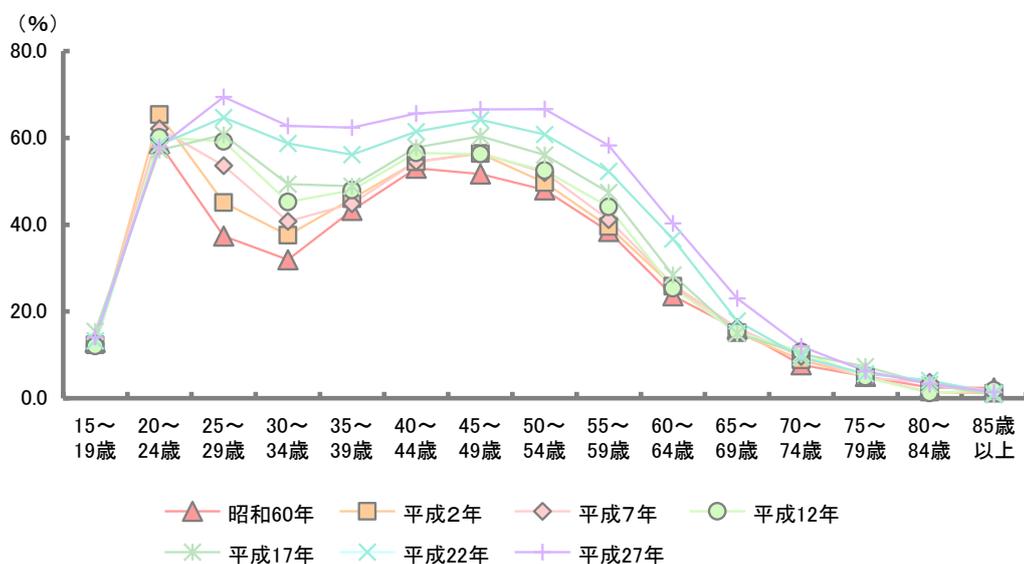
園児数：各年5月1日 単位：上段（人）、下段（％）

	公立園				私立園				合計			
	3歳	4歳	5歳	計	3歳	4歳	5歳	計	3歳	4歳	5歳	計
昭和61年度	0 0.0	463 39.4	436 34.7	899 24.5	0 0.0	336 28.6	523 41.7	859 23.4	0 0.0	799 68.0	959 76.4	1,758 47.8
昭和62年度	0 0.0	511 41.3	499 41.8	1,010 27.6	129 10.4	390 31.6	346 29.0	865 23.6	129 10.4	901 72.9	845 70.8	1,875 51.2
昭和63年度	0 0.0	495 41.0	520 43.3	1,015 28.7	152 13.5	341 28.3	363 30.3	856 24.2	152 13.5	836 69.3	883 73.6	1,871 52.9
平成元年度	0 0.0	370 33.3	505 41.7	875 25.1	166 14.3	379 34.1	327 27.0	872 25.0	166 14.3	749 67.4	832 68.7	1,747 50.2
平成2年度	0 0.0	410 38.2	368 36.3	778 24.5	194 17.9	340 31.7	360 35.5	894 28.2	194 17.9	750 69.9	728 71.8	1,672 52.7
平成3年度	0 0.0	366 35.0	391 37.9	757 25.1	210 22.6	351 33.5	339 32.8	900 29.9	210 22.6	717 68.5	730 70.7	1,657 55.0
平成4年度	0 0.0	283 31.5	370 36.1	653 22.8	198 20.9	333 37.1	343 33.4	874 30.5	198 20.9	616 68.6	713 69.5	1,527 53.2
平成5年度	0 0.0	287 31.5	284 32.4	571 22.0	196 24.3	325 35.7	314 35.8	835 32.2	196 24.3	612 67.2	598 68.3	1,406 54.2
平成6年度	0 0.0	224 28.4	280 31.2	504 20.5	165 21.4	290 36.8	314 35.0	769 31.3	165 21.4	514 65.1	594 66.2	1,273 51.8
平成7年度	0 0.0	223 30.6	215 28.7	438 19.0	189 23.0	240 32.9	266 35.6	695 30.2	189 23.0	463 63.5	481 64.3	1,133 49.3
平成8年度	33 4.5	221 28.1	219 30.5	473 21.2	161 22.1	263 33.5	225 31.3	649 29.1	194 26.6	484 61.6	444 61.8	1,122 50.3
平成9年度	151 21.8	199 29.1	217 28.3	567 26.4	141 20.4	216 31.6	253 32.9	610 28.5	292 42.2	415 60.7	470 61.2	1,177 54.9
平成10年度	195 26.9	222 33.6	196 29.6	613 29.9	124 17.1	179 27.1	185 27.9	488 23.8	319 44.1	401 60.8	381 57.5	1,101 53.8
平成11年度	171 24.8	241 34.2	213 32.4	625 30.5	120 17.4	161 22.8	166 25.2	447 21.8	291 42.2	402 57.0	379 57.6	1,072 52.2

	公立園				私立園				合計			
	3歳	4歳	5歳	計	3歳	4歳	5歳	計	3歳	4歳	5歳	計
平成12年度	189 28.3	206 30.5	242 35.0	637 31.3	152 22.7	182 26.9	177 25.6	511 25.1	341 51.0	388 57.4	419 60.6	1,148 56.4
平成13年度	187 27.8	216 32.2	199 29.8	602 30.0	134 19.9	176 26.3	179 26.8	489 24.3	321 47.8	392 58.5	378 56.7	1,091 54.3
平成14年度	177 24.8	204 30.3	212 32.0	593 28.9	136 19.0	176 26.1	176 26.5	488 23.8	313 43.8	380 56.4	388 58.5	1,081 52.7
平成15年度	182 26.5	201 28.4	200 29.9	583 28.2	168 24.4	172 24.3	182 27.2	522 25.3	350 50.9	373 52.8	382 57.0	1,105 53.5
平成16年度	193 25.8	217 31.4	204 28.8	614 28.6	167 22.4	190 27.5	175 24.7	532 24.8	360 48.2	407 58.8	379 53.5	1,146 53.4
平成17年度	202 26.6	207 28.1	212 30.3	621 28.3	188 24.7	188 25.5	200 28.6	576 26.2	390 51.3	395 53.6	412 58.9	1,197 54.5
平成18年度	185 27.8	219 28.9	208 28.9	612 28.6	174 26.2	210 27.7	184 25.6	568 26.5	359 54.0	429 56.6	392 54.4	1,180 55.1
平成19年度	187 26.5	196 29.2	216 28.7	599 28.1	184 26.1	187 27.9	210 27.9	581 27.3	371 52.5	383 57.1	426 56.6	1,180 55.4
平成20年度	187 27.3	195 28.1	193 29.2	575 28.2	197 28.8	191 27.5	179 27.1	567 27.8	384 56.1	386 55.5	372 56.3	1,142 56.0
平成21年度	178 26.9	202 29.3	190 27.5	570 27.9	163 24.6	206 29.9	194 28.1	563 27.6	341 51.5	408 59.2	384 55.6	1,133 55.5
平成22年度	161 23.8	195 28.7	193 28.0	549 26.8	185 27.3	174 25.6	212 30.8	571 27.9	346 51.1	369 54.3	405 58.8	1,120 54.8
平成23年度	192 28.2	175 26.1	195 28.3	562 27.6	189 27.8	190 28.4	181 26.3	560 27.5	381 56.0	365 54.5	376 54.7	1,122 55.1
平成24年度	154 25.2	195 29.0	172 26.2	521 26.8	158 25.9	186 27.6	187 28.5	531 27.4	312 51.1	381 56.6	359 54.6	1,052 54.2
平成25年度	167 24.3	154 25.5	198 29.2	519 26.3	182 26.5	159 26.3	187 27.5	528 26.8	349 50.8	313 51.8	385 56.7	1,047 53.1
平成26年度	147 22.4	177 25.7	152 25.0	476 24.4	195 29.8	188 27.3	161 26.5	544 27.9	342 52.2	365 53.1	313 51.6	1,020 52.3
平成27年度	131 20.0	147 22.9	177 26.0	455 23.0	160 24.4	188 29.3	169 24.9	517 26.1	291 44.4	335 52.2	346 50.9	972 49.1
平成28年度	84 15.1	129 20.0	147 22.7	360 19.4	117 21.0	144 22.3	162 25.0	423 22.9	201 36.1	273 42.3	309 47.7	783 42.3
平成29年度	86 16.0	83 15.2	128 19.7	297 17.1	129 24.0	110 20.1	145 22.3	384 22.1	215 40.0	193 35.3	273 42.0	681 39.3

資料：保育・幼稚園課調べ

資料7 女性の年齢別労働力率の推移



資料：国勢調査

資料8 就学前施設の園別・年齢別園児数（平成29年度）

単位：人

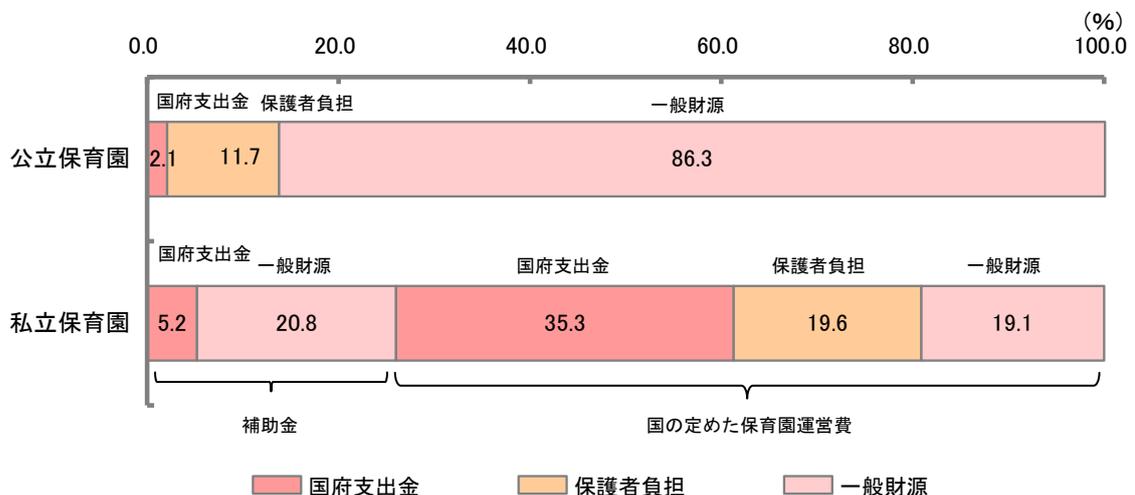
施設名	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
南ヶ丘保育園	5	10	15	10	11	11	62
南ヶ丘第二保育園	5	15	15	16	16	17	84
みその保育園	13	12	23	22	19	27	116
みやこ保育園	0	3	3	5	5	6	22
わかたけ保育園	5	24	28	21	30	30	138
公立小計	28	64	84	74	81	91	422
八幡保育園	4	8	14	11	13	15	65
西遊寺保育園	2	13	12	9	10	17	63
山鳩保育園	12	29	41	47	50	42	221
男山保育園	17	26	39	36	35	39	192
ぶどうの木保育園	15	24	31	31	32	32	165
くすのき保育園	9	14	24	20	21	26	114
山鳩第二保育園	8	26	30	19	51	46	180
私立小計	67	140	191	173	212	217	1,000
合計	95	204	275	247	293	308	1,422
八幡幼稚園	—			17	8	22	47
第二幼稚園				7	10	20	37
第三幼稚園				12	13	22	47
第四幼稚園				15	20	23	58
橋本幼稚園				23	26	32	81
公立小計				74	77	119	270
なるみ幼稚園				72	89	96	257
私立小計				72	89	96	257
合計				146	166	215	527
有都こども園	3	4	17	23	17	35	99
公立小計	3	4	17	23	17	35	99
歩学園幼稚園	7	8	29	74	76	80	274
早苗幼稚園	4	11	15	70	57	55	212
私立小計	11	19	44	144	133	135	486
合計	14	23	61	167	150	170	585

注1. 基準日は、保育認定を4月1日、幼稚園認定を5月1日としている。

注2. 園児数は総数とし、私立幼稚園及び私立認定こども園は、市外園児を含む。

資料：保育・幼稚園課調べ

資料9 公立保育園と私立保育園の比率の財源比較（平成26年度）

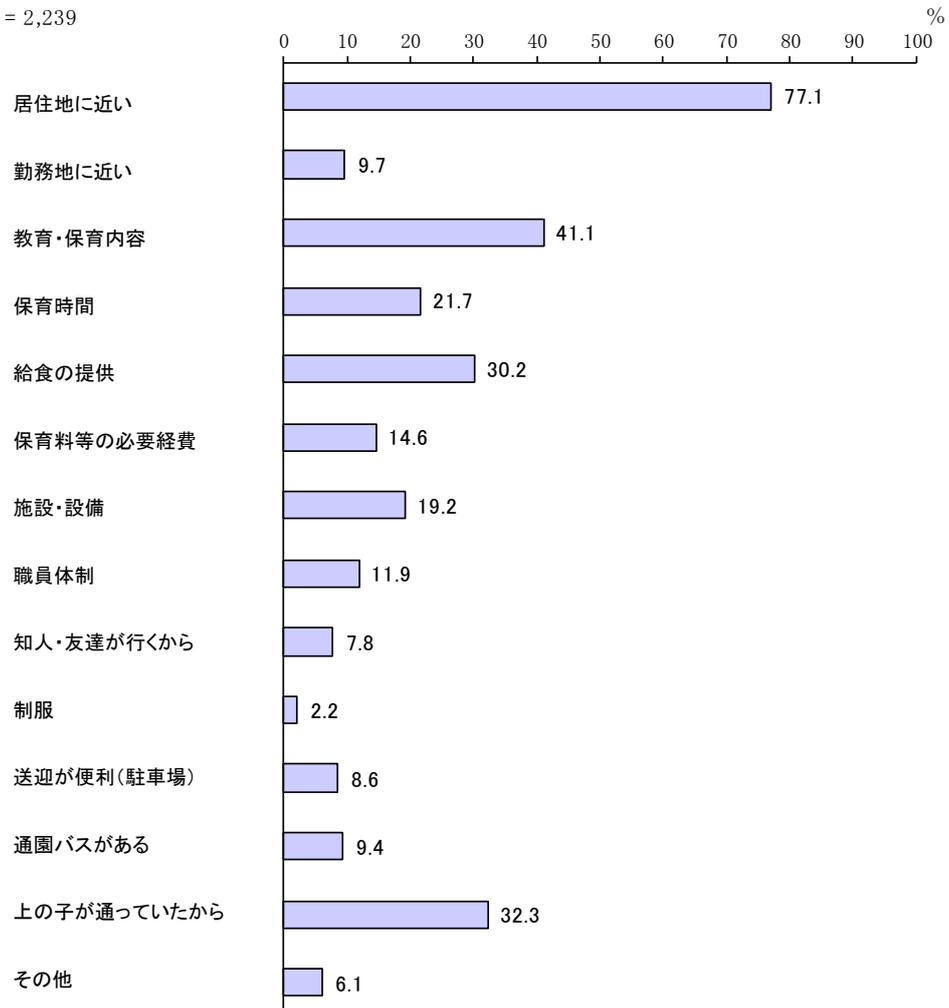


資料：保育・幼稚園課調べ

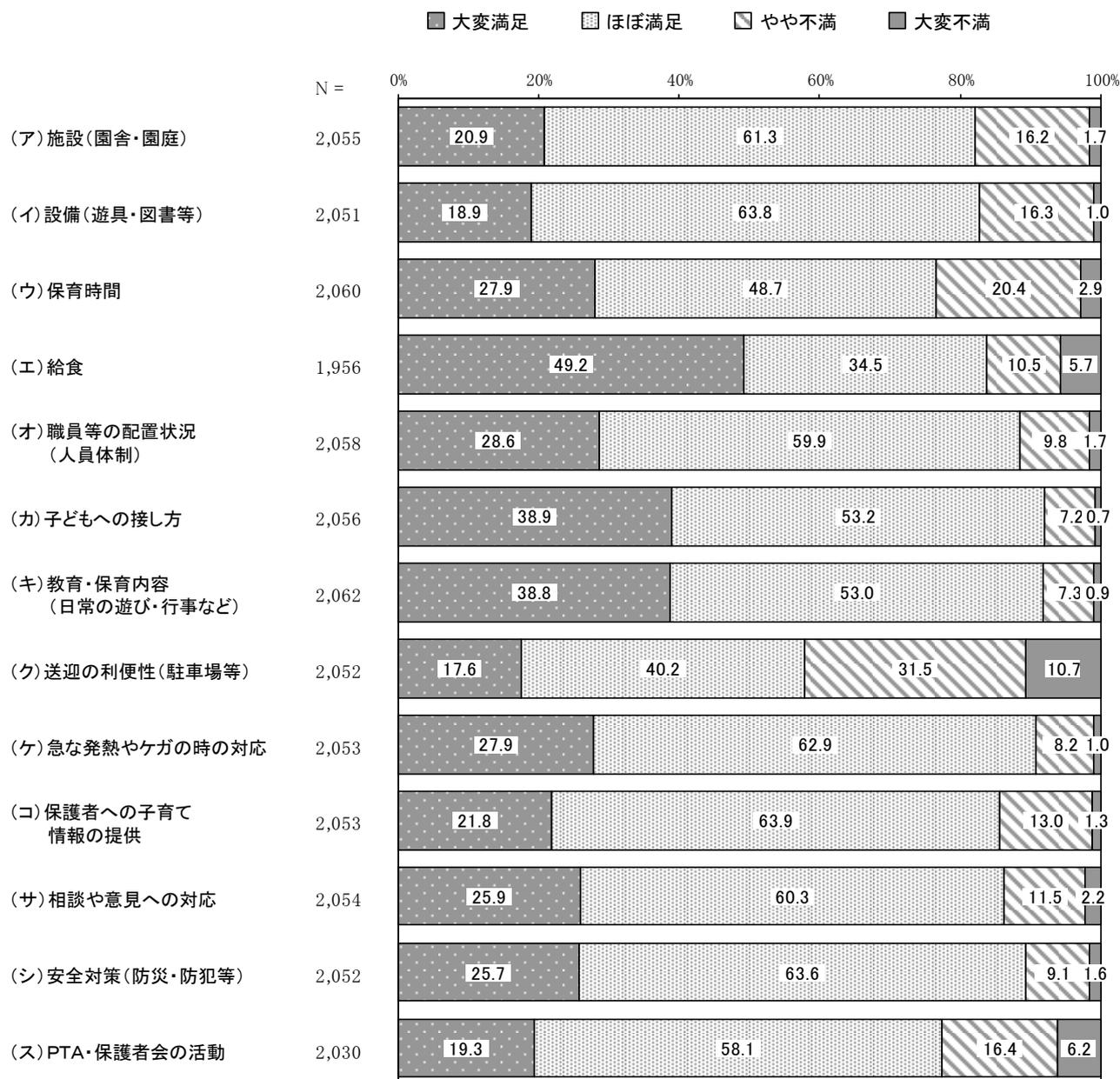
資料 10 就学前施設についてのアンケート調査結果（平成 28 年度）

①通っている施設を選んだ理由

N = 2,239



②就学前施設の満足度と重要度



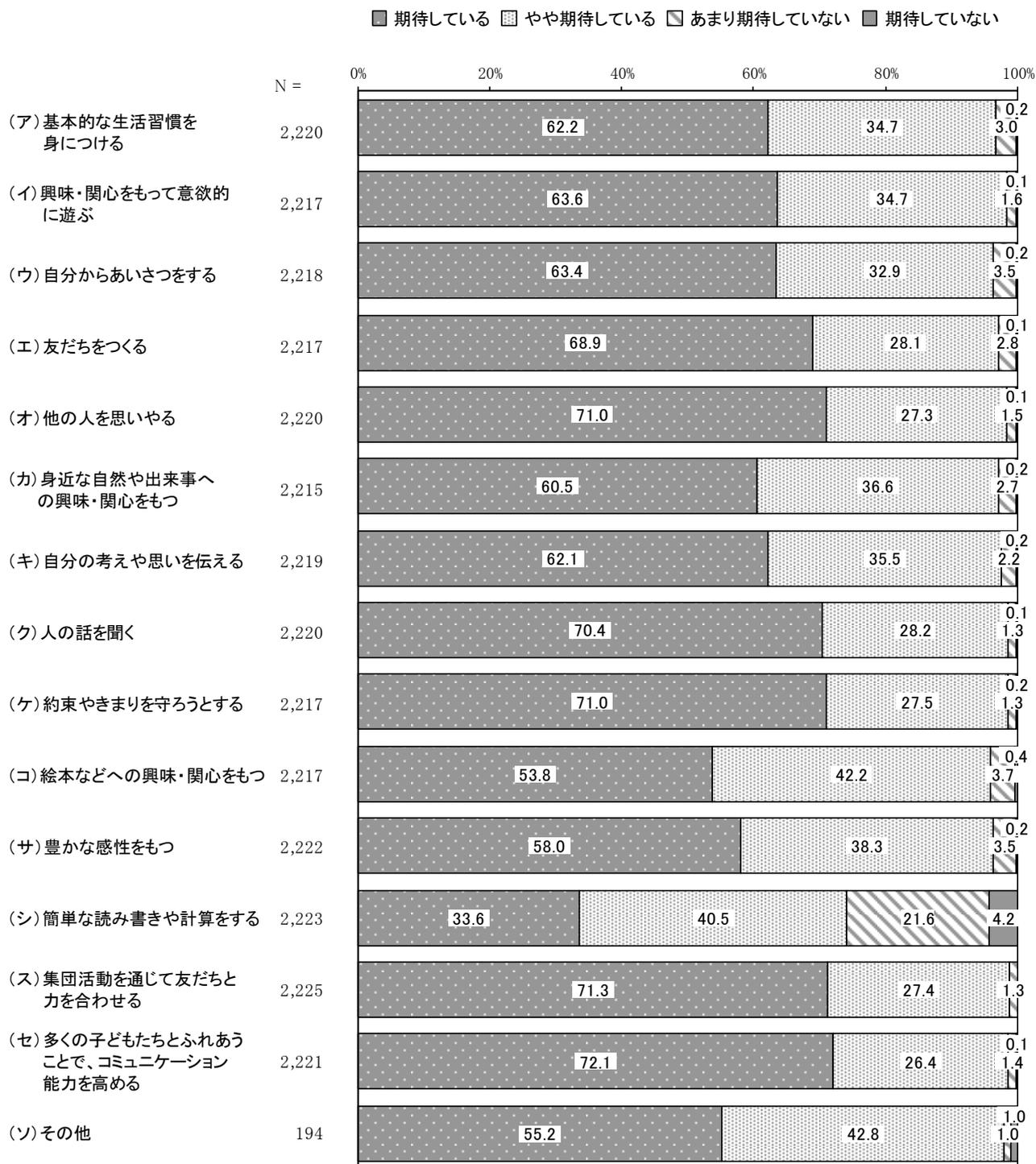
単位：％

区分		満足度					重要度				
		有効 回答数 (件)	大変 満足	ほぼ 満足	やや 不満	大変 不満	有効 回答数 (件)	重要	やや 重要	あまり 重要 でない	重要 でない
(ア)施設(園舎・園庭)	公立幼稚園	279	10.8	74.2	14.3	0.7	254	48.8	46.9	3.9	0.4
	私立幼稚園	211	30.8	62.1	7.1	-	174	56.9	42.0	1.1	-
	公立保育園	277	13.7	54.2	28.5	3.6	233	54.1	41.6	4.3	-
	私立保育園	619	24.9	57.0	16.6	1.5	545	56.1	39.3	4.6	-
	公立認定こども園	81	22.2	69.1	8.6	-	67	49.3	49.3	1.5	-
	私立認定こども園	222	21.6	59.9	17.6	0.9	190	51.6	45.8	2.6	-
(イ)設備 (遊具・図書等)	公立幼稚園	278	12.2	68.0	18.7	1.1	254	50.0	46.5	3.5	-
	私立幼稚園	211	25.6	69.2	5.2	-	171	50.9	45.6	3.5	-
	公立保育園	281	13.5	60.5	25.6	0.4	233	51.5	43.3	4.7	0.4
	私立保育園	614	21.7	58.8	18.4	1.1	543	54.0	40.5	5.2	0.4
	公立認定こども園	81	21.0	67.9	11.1	-	67	38.8	58.2	3.0	-
	私立認定こども園	222	20.3	66.7	13.1	-	189	42.9	52.9	4.2	-
(ウ)保育時間	公立幼稚園	277	5.8	39.7	46.2	8.3	253	53.0	43.1	4.0	-
	私立幼稚園	212	22.2	56.6	21.2	-	174	50.6	43.7	5.7	-
	公立保育園	282	31.6	55.7	11.0	1.8	232	75.4	21.6	3.0	-
	私立保育園	620	42.1	45.2	11.5	1.3	545	75.2	22.6	1.7	0.6
	公立認定こども園	81	14.8	51.9	27.2	6.2	67	68.7	29.9	1.5	-
	私立認定こども園	222	31.1	56.8	11.7	0.5	189	64.6	30.7	4.2	0.5
(エ)給食	公立幼稚園	206	5.3	19.9	42.2	32.5	210	41.9	45.7	11.0	1.4
	私立幼稚園	211	64.0	28.9	6.6	0.5	171	67.3	29.8	1.8	1.2
	公立保育園	281	58.7	38.4	2.5	0.4	233	76.0	21.5	2.1	0.4
	私立保育園	618	55.5	40.0	4.2	0.3	545	77.4	19.8	2.0	0.7
	公立認定こども園	81	72.8	27.2	-	-	67	76.1	23.9	-	-
	私立認定こども園	222	50.5	40.5	8.1	0.9	192	75.5	22.4	2.1	-
(オ)職員等の配置状 況(人員体制)	公立幼稚園	277	17.7	62.5	17.0	2.9	252	63.5	35.3	0.8	0.4
	私立幼稚園	212	28.8	60.8	9.0	1.4	173	70.5	26.0	3.5	-
	公立保育園	283	35.0	55.5	8.1	1.4	231	78.4	20.3	0.4	0.9
	私立保育園	619	31.5	58.8	8.1	1.6	543	75.9	22.8	0.9	0.4
	公立認定こども園	81	38.3	56.8	4.9	-	67	71.6	26.9	1.5	-
	私立認定こども園	219	27.9	63.0	8.7	0.5	188	74.5	24.5	1.1	-
(カ)子どもへの接し方	公立幼稚園	277	33.6	57.0	9.0	0.4	254	86.2	13.4	0.4	-
	私立幼稚園	209	43.1	53.1	3.8	-	174	86.8	13.2	-	-
	公立保育園	283	35.7	53.7	9.9	0.7	231	90.0	9.5	0.4	-
	私立保育園	619	39.4	52.0	6.9	1.6	544	88.4	10.7	0.6	0.4
	公立認定こども園	81	42.0	58.0	-	-	67	82.1	17.9	-	-
	私立認定こども園	222	41.9	50.9	7.2	-	192	94.8	5.2	-	-
(キ)教育・保育内容 (日常の遊び・ 行事など)	公立幼稚園	278	26.6	62.6	9.7	1.1	253	76.7	22.5	0.8	-
	私立幼稚園	212	49.5	49.1	1.4	-	171	80.1	19.9	-	-
	公立保育園	283	37.1	53.7	8.8	0.4	230	71.3	27.8	0.9	-
	私立保育園	620	42.1	48.2	8.1	1.6	544	76.3	22.1	1.3	0.4
	公立認定こども園	81	38.3	55.6	6.2	-	66	74.2	24.2	1.5	-
	私立認定こども園	221	39.8	54.8	5.0	0.5	192	77.1	22.4	0.5	-

単位：%

区分		満足度					重要度				
		有効 回答 数 (件)	大 変 満 足	ほ ぼ 満 足	や や 不 満	大 変 不 満	有効 回答 数 (件)	重 要	や や 重 要	あ ま り 重 要 で は な い	重 要 で な い
(ク)送迎の利便性 (駐車場等)	公立幼稚園	275	10.2	40.4	33.5	16.0	250	36.4	51.6	11.2	0.8
	私立幼稚園	211	30.3	49.8	19.0	0.9	173	39.9	51.4	8.1	0.6
	公立保育園	278	10.1	39.2	36.3	14.4	230	43.9	40.9	14.3	0.9
	私立保育園	619	20.5	38.4	31.7	9.4	545	45.5	46.1	7.9	0.6
	公立認定こども園	81	7.4	34.6	39.5	18.5	67	40.3	52.2	7.5	-
	私立認定こども園	222	19.4	36.0	37.4	7.2	192	37.5	51.6	10.4	0.5
(ケ)急な発熱やケガの 時の対応	公立幼稚園	277	20.2	69.7	9.0	1.1	252	71.8	27.4	0.8	-
	私立幼稚園	209	27.8	67.0	4.3	1.0	173	65.9	32.4	1.2	0.6
	公立保育園	281	28.8	59.8	10.3	1.1	232	72.8	27.2	-	-
	私立保育園	619	30.9	58.0	10.2	1.0	544	73.7	24.6	0.7	0.9
	公立認定こども園	81	27.2	69.1	3.7	-	67	77.6	20.9	1.5	-
	私立認定こども園	222	29.7	63.1	7.2	-	191	68.1	31.4	0.5	-
(コ)保護者への子育て 情報の提供	公立幼稚園	278	18.7	65.5	14.7	1.1	254	47.6	42.5	9.4	0.4
	私立幼稚園	209	20.1	69.4	9.6	1.0	173	46.8	44.5	8.1	0.6
	公立保育園	281	25.3	59.8	12.8	2.1	231	52.4	37.7	10.0	-
	私立保育園	617	23.2	61.6	14.3	1.0	543	49.4	40.9	8.5	1.3
	公立認定こども園	80	21.3	73.8	5.0	-	67	47.8	47.8	4.5	-
	私立認定こども園	221	21.3	62.0	16.3	0.5	192	36.5	50.5	12.5	0.5
(サ)相談や意見への 対応	公立幼稚園	277	20.9	68.2	9.7	1.1	252	63.1	34.1	2.8	-
	私立幼稚園	211	27.0	63.0	6.6	3.3	175	60.6	37.1	2.3	-
	公立保育園	280	28.6	53.9	15.7	1.8	233	59.2	37.3	3.4	-
	私立保育園	616	29.2	55.4	12.2	3.2	544	56.4	39.9	2.8	0.9
	公立認定こども園	81	17.3	76.5	6.2	-	66	53.0	45.5	1.5	-
	私立認定こども園	222	25.7	62.6	10.4	1.4	192	52.1	44.3	3.6	-
(シ)安全対策(防災・ 防犯等)	公立幼稚園	277	22.7	69.0	7.2	1.1	252	77.0	22.6	0.4	-
	私立幼稚園	211	26.5	64.9	7.6	0.9	174	77.0	22.4	-	0.6
	公立保育園	280	24.3	57.5	16.1	2.1	234	78.6	20.9	0.4	-
	私立保育園	616	28.4	61.0	8.9	1.6	541	76.3	21.8	0.9	0.9
	公立認定こども園	80	21.3	75.0	3.8	-	67	71.6	28.4	-	-
	私立認定こども園	222	24.3	68.9	6.8	-	192	76.0	22.4	1.6	-
(ス)PTA・保護者会の 活動	公立幼稚園	275	13.8	42.5	26.9	16.7	254	26.0	53.9	14.2	5.9
	私立幼稚園	211	25.6	63.0	9.0	2.4	173	25.4	51.4	17.9	5.2
	公立保育園	277	16.2	59.2	20.9	3.6	231	23.8	36.8	29.9	9.5
	私立保育園	604	20.9	60.6	14.7	3.8	539	23.0	47.9	21.5	7.6
	公立認定こども園	81	19.8	49.4	19.8	11.1	67	20.9	43.3	28.4	7.5
	私立認定こども園	219	20.5	69.9	7.8	1.8	191	13.1	49.7	31.9	5.2

③就学前施設に期待すること



単位：%

区分		期待すること					身につけてほしいこと				
		有効回答数 (件)	期待している	やや期待している	あまり期待していない	期待していない	有効回答数 (件)	重要	やや重要	ではない	あまり重要でない
(ア) 基本的な生活習慣を身につける	公立幼稚園	265	56.2	40.0	3.8	-	282	84.4	15.6	-	-
	私立幼稚園	200	70.5	27.5	1.5	0.5	212	87.7	12.3	-	-
	公立保育園	264	63.3	33.7	3.0	-	279	87.8	10.8	1.4	-
	私立保育園	587	62.9	34.4	2.6	0.2	619	86.8	12.8	0.3	0.2
	公立認定こども園	69	63.8	34.8	1.4	-	81	86.4	13.6	-	-
	私立認定こども園	217	64.1	34.6	1.4	-	226	87.2	12.8	-	-
(イ) 興味・関心をもって意欲的に遊ぶ	公立幼稚園	263	60.5	38.4	1.1	-	281	76.5	22.8	-	0.7
	私立幼稚園	200	70.0	28.0	2.0	-	212	76.9	23.1	-	-
	公立保育園	262	63.7	35.5	0.8	-	278	78.8	20.5	0.7	-
	私立保育園	590	63.4	34.4	2.0	0.2	620	78.4	21.0	0.5	0.2
	公立認定こども園	69	68.1	31.9	-	-	81	79.0	19.8	1.2	-
	私立認定こども園	217	66.8	32.3	0.9	-	223	71.7	27.8	0.4	-
(ウ) 自分からあいさつをする	公立幼稚園	263	60.5	35.0	4.6	-	282	84.8	14.9	0.4	-
	私立幼稚園	200	66.5	29.5	3.5	0.5	212	82.5	16.5	0.9	-
	公立保育園	263	56.3	36.9	6.8	-	280	82.9	15.7	1.4	-
	私立保育園	590	64.6	33.1	2.0	0.3	620	87.3	12.4	0.3	-
	公立認定こども園	69	63.8	34.8	1.4	-	81	84.0	16.0	-	-
	私立認定こども園	217	65.4	32.3	2.3	-	226	80.5	18.1	1.3	-
(エ) 友だちをつくる	公立幼稚園	264	65.9	31.8	2.3	-	281	80.8	18.5	0.7	-
	私立幼稚園	199	70.9	27.1	1.5	0.5	211	79.6	17.1	3.3	-
	公立保育園	263	68.1	28.9	3.0	-	280	86.8	13.2	-	-
	私立保育園	589	68.9	27.7	3.2	0.2	618	80.3	18.9	0.8	-
	公立認定こども園	69	68.1	31.9	-	-	81	76.5	23.5	-	-
	私立認定こども園	217	70.0	25.8	4.1	-	226	77.9	21.7	0.4	-
(オ) 他の人を思いやる	公立幼稚園	265	69.8	29.8	0.4	-	282	89.0	11.0	-	-
	私立幼稚園	198	76.3	21.2	2.5	-	212	89.2	10.4	0.5	-
	公立保育園	263	68.8	29.3	1.5	0.4	278	90.3	9.4	0.4	-
	私立保育園	590	70.7	27.6	1.5	0.2	620	90.5	9.4	0.2	-
	公立認定こども園	69	69.6	30.4	-	-	81	87.7	12.3	-	-
	私立認定こども園	217	72.4	26.7	0.9	-	226	85.8	13.7	0.4	-
(カ) 身近な自然や出来事への興味・関心をもつ	公立幼稚園	264	59.5	39.0	1.5	-	281	65.1	33.5	1.4	-
	私立幼稚園	200	59.5	39.5	1.0	-	212	68.9	30.2	0.9	-
	公立保育園	261	57.1	40.2	2.3	0.4	278	71.6	27.0	1.4	-
	私立保育園	590	62.9	34.2	2.9	-	620	68.9	30.8	0.3	-
	公立認定こども園	69	63.8	33.3	1.4	1.4	80	77.5	20.0	2.5	-
	私立認定こども園	217	63.6	35.0	1.4	-	226	62.8	35.0	2.2	-
(キ) 自分の考えや思いを伝える	公立幼稚園	265	65.3	33.2	1.5	-	281	82.2	17.1	0.7	-
	私立幼稚園	199	65.3	32.2	2.5	-	212	81.6	17.9	0.5	-
	公立保育園	261	59.8	37.9	1.9	0.4	279	85.7	14.3	-	-
	私立保育園	590	61.5	35.9	2.2	0.3	620	83.7	16.0	0.3	-
	公立認定こども園	69	69.6	27.5	2.9	-	81	81.5	18.5	-	-
	私立認定こども園	217	62.2	36.9	0.9	-	226	76.5	23.5	-	-
(ク) 人の話を聞く	公立幼稚園	265	71.7	27.2	1.1	-	282	90.8	8.9	0.4	-
	私立幼稚園	200	72.5	26.5	1.0	-	212	89.2	10.8	-	-
	公立保育園	261	64.8	32.2	2.7	0.4	279	89.6	9.7	0.7	-
	私立保育園	590	71.2	27.6	1.0	0.2	620	88.9	11.0	0.2	-
	公立認定こども園	69	72.5	24.6	2.9	-	81	88.9	11.1	-	-
	私立認定こども園	217	71.4	28.6	-	-	225	84.4	15.6	-	-

単位：％

区分		期待すること					身につけてほしいこと				
		有効回答数 (件)	期待している	やや期待している	あまり期待していない	期待していない	有効回答数 (件)	重要	やや重要	あまり重要ではない	重要でない
(ケ) 約束やきまりを守ろうとする	公立幼稚園	265	69.8	29.8	0.4	-	281	86.1	13.9	-	-
	私立幼稚園	200	75.5	22.5	2.0	-	212	86.3	13.2	0.5	-
	公立保育園	260	67.3	29.2	2.7	0.8	279	85.7	14.0	0.4	-
	私立保育園	589	72.2	27.2	0.5	0.2	620	85.2	14.4	0.5	-
	公立認定こども園	69	73.9	24.6	1.4	-	81	86.4	13.6	-	-
	私立認定こども園	217	71.0	27.6	1.4	-	225	81.8	18.2	-	-
(コ) 絵本などへの興味・関心をもつ	公立幼稚園	265	54.0	44.2	1.9	-	282	61.0	36.9	1.4	0.7
	私立幼稚園	199	52.8	41.2	4.5	1.5	212	60.4	37.7	1.9	-
	公立保育園	262	56.1	38.9	4.2	0.8	279	64.9	29.0	6.1	-
	私立保育園	590	54.6	41.7	3.7	-	619	64.3	33.9	1.6	0.2
	公立認定こども園	69	66.7	33.3	-	-	81	72.8	27.2	-	-
	私立認定こども園	214	51.4	43.9	4.7	-	225	58.2	38.7	3.1	-
(サ) 豊かな感性をもつ	公立幼稚園	265	58.5	40.0	1.5	-	282	72.7	25.5	1.8	-
	私立幼稚園	201	61.2	37.3	1.5	-	212	74.1	25.0	0.9	-
	公立保育園	263	57.8	37.3	4.2	0.8	279	75.6	22.2	2.2	-
	私立保育園	590	60.3	35.8	3.7	0.2	620	75.5	24.0	0.3	0.2
	公立認定こども園	69	66.7	31.9	1.4	-	81	74.1	25.9	-	-
	私立認定こども園	217	55.8	42.9	1.4	-	225	69.3	28.0	2.7	-
(シ) 簡単な読み書きや計算をする	公立幼稚園	265	26.8	40.8	27.2	5.3	282	35.8	45.4	17.4	1.4
	私立幼稚園	201	35.8	43.3	17.4	3.5	212	42.0	42.5	11.8	3.8
	公立保育園	263	33.5	41.1	20.2	5.3	279	49.1	35.1	14.0	1.8
	私立保育園	590	37.8	38.8	19.2	4.2	619	40.7	41.2	17.1	1.0
	公立認定こども園	68	25.0	45.6	23.5	5.9	81	25.9	53.1	18.5	2.5
	私立認定こども園	217	38.2	44.2	16.1	1.4	226	38.9	47.3	13.3	0.4
(ス) 集団活動を通じて友達と力を合わせる	公立幼稚園	265	74.0	25.7	0.4	-	281	83.3	16.4	0.4	-
	私立幼稚園	202	76.2	22.3	1.5	-	212	82.1	17.0	0.9	-
	公立保育園	264	68.2	29.9	1.9	-	280	78.9	20.7	0.4	-
	私立保育園	590	70.2	29.3	0.5	-	620	80.5	19.4	0.2	-
	公立認定こども園	69	84.1	15.9	-	-	81	82.7	17.3	-	-
	私立認定こども園	217	70.0	28.1	1.8	-	223	72.6	27.4	-	-
(セ) 多くの子どもたちとふれあうことで、コミュニケーション能力を高める	公立幼稚園	265	69.1	29.8	1.1	-	282	80.5	19.1	0.4	-
	私立幼稚園	201	75.1	23.4	1.5	-	212	82.1	17.0	0.9	-
	公立保育園	262	69.1	29.0	1.5	0.4	280	77.9	22.1	-	-
	私立保育園	589	73.2	25.3	1.5	-	620	83.1	16.3	0.6	-
	公立認定こども園	69	79.7	20.3	-	-	81	77.8	22.2	-	-
	私立認定こども園	217	73.3	26.3	0.5	-	226	76.1	22.1	1.8	-
(ソ) その他	公立幼稚園	30	46.7	50.0	3.3	-	16	93.8	6.3	-	-
	私立幼稚園	10	70.0	30.0	-	-	7	100.0	-	-	-
	公立保育園	30	60.0	40.0	-	-	9	88.9	11.1	-	-
	私立保育園	54	44.4	50.0	1.9	3.7	28	75.0	17.9	-	7.1
	公立認定こども園	2	100.0	-	-	-	2	100.0	-	-	-
	私立認定こども園	24	66.7	33.3	-	-	16	50.0	50.0	-	-

資料 1 1 就学前施設年表

年度	沿革
S13	八幡幼稚園 開園
S25	西遊寺保育園 開園 八幡保育園 開園（5月）
S28	南ヶ丘保育園（八幡久保田） 開園
S32	八幡幼稚園有智郷分園 開園
S39	八幡第二幼稚園（都々城地区） 開園
S42	吉野保育園 開園
S45	さつき保育園 開園
S47	都々城保育園 開園 有智郷保育園 開園 山鳩保育園 開園 早苗幼稚園 開園 南ヶ丘保育園 移転 八幡幼稚園園舎 増築
S48	みその保育園 開園 八幡第二幼稚園 開園 各小学校に附属幼稚園設置のため、既設幼稚園改称（八幡、有智郷、都々城） 八幡幼稚園 増築 男山保育園 開園（9月）
S49	橋本幼稚園 開園 八幡第二幼稚園 増築 八幡幼稚園 増築 南ヶ丘第二保育園 開園（10月）
S50	みやこ保育園 開園 ぶどうの木保育園 開園 有智郷幼稚園 改称 八幡第三幼稚園 開園
S51	なるみ幼稚園 開園
S52	八幡第四幼稚園 開園 中央幼稚園 開園 有智郷幼稚園 改築
S53	くすのき保育園 開園 わかたけ保育園 開園 橋本幼稚園 増築
S55	八幡第五幼稚園 開園
S56	八幡東幼稚園 開園
S58	南ヶ丘保育園 増築
S60	南ヶ丘保育園 移転 南ヶ丘第二保育園 大規模改修 有智郷幼稚園 休園（1年のみ）
S61	公立幼稚園二年制実施 <4歳児保育開始> 吉野保育園 休園

年度	沿革
S62	附属幼稚園制度廃止 八幡第二幼稚園 大規模改修
S63	吉野保育園 廃園（7月）
H3	橋本幼稚園 大規模改修
H4	八幡第三幼稚園 大規模改修 中央幼稚園 休園
H8	八幡幼稚園、八幡第三幼稚園 三年制試行実施 <3歳児保育開始> さつき・都々城保育園 廃園（3月） <保育園再編成>
H9	八幡幼稚園 耐震補強・大規模改修 全公立幼稚園 三年制実施 <3歳児保育開始> 都々城幼稚園、八幡第五幼稚園、八幡東幼稚園 休園 有智郷幼稚園を有都幼稚園に、有智郷保育園を有都保育園に改称
H10	都々城幼稚園、中央幼稚園、八幡第五幼稚園、八幡東幼稚園 廃園
H11	八幡第四幼稚園 大規模改修
H12	八幡第四幼稚園 大規模改修
H15	歩学園幼稚園 開園
H16	橋本幼稚園 増築
H19	くすのき保育園 民営化（社会福祉法人若竹福祉会に移管）
H20	有都幼稚園 耐震補強・大規模改修
H21.4	山鳩第二保育園 開園 有都保育園 耐震補強・大規模改修
H22	山鳩保育園 耐震補強・大規模改修（第一期） 男山保育園 大規模改修
H23	八幡第二幼稚園、八幡第三幼稚園 耐震補強・大規模改修 山鳩第二保育園 増築 山鳩保育園 耐震補強・大規模改修（第二期）
H24	保育所広域入所開始（京都市のみ） 橋本幼稚園 耐震補強・大規模改修
H25	八幡第四幼稚園 耐震補強・大規模改修 有都保育園、有都幼稚園 認定こども園化
H26	八幡保育園 耐震補強・大規模改修 ぶどうの木保育園 改築
H27	「子ども・子育て支援新制度」開始 有都保育園、有都幼稚園 廃園（幼保連携型認定こども園 有都こども園に移行） 歩学園幼稚園 幼保連携型認定こども園化 私立認定こども園の広域入所（1・2号に限る）を開始 男山保育園 耐震補強
H28	早苗幼稚園 幼保連携型認定こども園化 わかたけ保育園 耐震補強・大規模改修